

# 談呆国憂

season 2 VOLUME 41

## 田中康夫

今月の憂いゴト

「33年後のなんくり」から、地域の商店街の役割、アメリカの債務不履行回避、消費税アップまで！

東京・定立にある東和銀座商店街。

商店街の生き残りをかけてアイデアを凝らす

衣料品店主の話にしばし耳を傾けた田中・浅田両氏。

ローカルとグローバルが交錯する現代社会のなかで、見失ってはいけないものは何なのか、語り合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

## 浅田彰



衣料品店『ミツワベビー』の田中武夫店主の愛蔵書『商店会のしごと』は、東和銀座商店街で取材。



## 人のつながりを醸成する、地域の商店街。

浅田 『文藝』冬季号に田中さんの「33年後のなんとなく、クリスタル」が掲載された。歴史的な「文壇復帰」って感じだけど、連載はしばらく続くのかな？

田中 1回に原稿用紙100枚で現時点では2、3回の予定。日々、呻吟してるよ。

浅田 オリジナルの『なんとなく、クリスタル』は本文と脚注が同じウエイトを占めてた。今回も単行本化するとき脚注をつけると面白いかも。

田中 延々と長い注釈でもう一つの物語を描くのはあるかもね。1980年の処女作で最後に記した「人口問題審議会」と「厚生白書」の出生率と高齢化率の予測データと現実との比較は載せるべきかな。当時は2000年に14・3%と予測されていた高齢化率は現実には2000年に17・4%、2010年に23・0%と大幅に上回っているのだから。新装版で河出文庫から出るのだから。新装版で河出文庫から出る『なんとなく、クリスタル』の解説で高橋源一郎が「これほど深く、徹底的に、資本主義社会と対峙した小説を、ぼくは知らない」とカール・マルクスの『資本論』を引き合いに出して、「社会が異様な繁栄へ向かいつつあるその瞬間に、まるで悪夢のような光景を一時、垣間見させた。だが、人びとは、その映像には気づかなかつた。著者の田中康夫だけが提出することができた」と過分な評価を記している、思わず汗が出たよ(苦笑)。

浅田 ともかく、この新作には、田中さんの個人史や日本の社会史が克明に書き込まれてて、それだけで十分面白いんだけど、そのレビューを超えて、「記憶の円盤」の回

転が生み出す眩暈めいた感覚——33年の時間がリアルでありながら夢のようにも感じられる、そんな感覚が見事に描かれている。

オリジナルにあった「透明感」に、今回はワインのような「濃密さ」も加えて。プルーストを引くまでもなく、小説の本質的なテーマは時間と記憶なんで、その意味では田中康夫は紛れもない小説家なんだな。

田中 文藝賞を受賞した80年当時は携帯電話どころかテレフォンカードさえなかった。大学のある国立から都内の彼女に電話をかけるには同じ東京なのに30秒で10円。小銭をたくさん用意して公衆電話に向かったもんだ(笑)。今月の特集が「コミュニケーション術」で訪れた足立区の東和銀座商店街で理事長を務める衣料品店のご主人が「80年代はまだ活気にあふれていた」と語りながら、全ページに写真入りで東和銀座商店街が登場する全国の小学校で副読本にした『商店会のしごと』を懐かしそうに見せてくれたけど、2000年に「大店立地法(大規模小売店舗立地法)」が施行されると、大型ショッピングセンターが林立する一方で昔ながらの商店街は活気を失っていく。

まさに、市場が市場に変わっていった時代。日本の伝統文化を守ると自称・保守政治家たちは語るけど、実はTPP(環太平洋経済連携協定)が議論されるはるか前から崩されているんだよ。

浅田 老舗や個性的な店は生き残っても、多くの店が廃業していくから線としてつながらず、商店街として成り立たなくなるところが多いね。ぼくの京都の自宅の近くにも、北野天満宮の門前に商店街があるんだけど、北野白梅町にイズミヤができて

から地盤沈下が止まらない。

さっきのご主人は、商店街で株式会社を立ち上げ、地域の病院のレストランや学校給食に出荷するといった努力を以前から続けてきたおかげで何とかしのいでるって話されてたけど、子ども服店の中に子どものための本や絵本のコーナーがあったり、あいう個性的な店が立ち並ぶ商店街そのものが元気に存続してほしいねえ。

田中 つい最近まで空き店舗で待機児童の預かりもされていたらしい。宅幼老所の一種だね。そうした勤性や温性を持った市井の地頭の知恵が生かされないのは残念無念だ。

産経新聞で山田洋次が「日本人はオリンピック以降、不幸になった」のタイトルで話していた。日本の子どもたちはかつてお店屋さんで育てられた。豆腐屋のおじさんや八百屋のおじさんに叱られたり、「お父ちゃん元気か」って言われたり、「この前、鉛筆買いに行ったら、近くに文房具屋がありやしない。文房具屋がなくなる、本屋がなくなる、金物屋でちよっとした針金、トシカチ、くぎとかを買うために、なんとかセンターまで行かなきゃいけない。ネット(通販)になったり。昔はそれをお店に買いに行った。お店がなくなっちゃったということ、日本人は大事な文化を失ってしまった。オリンピック以後だ。国の発展、人々の暮らしの形が変わった」とね。そして、7年後に再び東京で五輪が開かれるがと問う記者に、「期待していない。オリンピックが終わった後がどんなに悲惨かというのは、ロンドンであり北京であり見えているんじゃないかな。施設のとかが荒涼としてしまう。東京もあ



なるかと思うとぞっとする。今大切なのは、オリンピックじゃなくて、福島じゃないですかね」と。

浅田 まったく同感。さらに、クルマでなくや行けないような郊外型のスーパーや量販店になると、クルマのない高齢者は置いてきぼりになる。地方にはそういうケースが多い。

田中 限界集落化が進行する多摩ニュータウンでは、店舗まで出向けない高齢者のためにイトーヨーカドーが4トントラックで移動販売を始めたらしい。信州でも最南端の天龍村には、トラックに魚や生活用品を積んで浜松から移動販売に来ていたけど、ついに東京もそうなったわけだ。

浅田 昔は行商人つのがいた。ぼくが幼年期を過ごした愛媛県の松山には、1960年代でも、三津浜からいるんな魚を桶に入れたおばさんが行商に来てたね。京都ではいまでも大原から野菜を売りに来るおばさんがいる。そういうのは一般には絶滅するかと思われてたら、別の形で必要とされるようになったわけだ。

ともかく、子どもから老人まで、地域住民が普通に生活しながら自然に見守りもできるっていう商店街の役割は、あらためて評価されるべきじゃないかな。

田中 監視型じゃない、よい意味での近所づきあいや地域での見守りができる商店街の復活が治安の復活にも繋がるんだけどね。まあ個人的には、この近くの水元公園に住んでいた彼女の一人を送り迎えしていた20年以上前を懐かしく思い出したよ(笑)。

## 「フクイチ」の漫画が話題に。でも、「隠された真実」って？

浅田 原発を推進してきた小泉純一郎元首

相が、今になって盛んに脱原発を唱えている。そういえば、最初に原発導入の道をつけた中曽根康弘元首相も、震災直後から「これからは太陽エネルギーだ」と言っていた(笑)。この鉄面皮な「風見鶏」ぶりって、政治家の資質としては実は貴重じゃない?

他方、桜田義孝文部科学副大臣が原発事故で発生した放射性物質を含むゴミ焼却灰の処理について「原発事故で人の住めなくなった福島県の施設に置けばいい」と発言して、菅義偉官房長官から注意を受けたけど、確かに不意な発言であるとはいえず、あれはみんなが思っていることでしょう。田中 小泉親子を汚染水処理と廃炉担当の特命大臣・政務官に任命するウルトラCを安倍晋三首相が決断したりして。

そのフクイチで作業員だった48歳の新人・竜田一人が描いたという漫画「いちえふ福島第一原子力発電所案内記」が週刊『モーニング』に掲載されて話題になったけど、なんか臭うんだ。現場の人間や地元住民は「いちえふ」と呼んで、「フクイチなんて言う奴はここにはいない」と作品の冒頭で挑発している。それって「マックと呼ぼうマクドナルド」をマックと呼ぶ関西人は無知だと切り捨てるような上から目線な発想でね(苦笑)。

吹き出しのセリフも「週刊誌のインチキ」「マスコミや『市民団体』が騒ぐ」「意図的な誇張」「フクシマの隠された真実」なんて俺たちは正直うんざりだ」と続いて最後に、「個別識別番号が印刷されたタグが無い」から「事故の後に生まれた」に違いない「警戒区域名物 放れ牛」は「勿論奇形など見たことはない」他の動植物も同様だ彼らはこの禁断の地でむしろ自由に逞しく

生きている」と言い切る「渾身のルポルタージュ漫画」『F I D A Y』掲載の彼のインタヴューも写真週刊誌なのに顔写真がない。その「隠された真実」を逆に僕は知りたくなかったよ。

自民党の塩崎恭久政調会長代理が廃炉作業を東電から切り離した別会社で行えばいいと言っていたけど、それって東電はお咎めなしで、ますます傍若無人にふるまう危険性が高い。我々が何度も言っているように、東電は旧東京電力・新関東電力に分割するのが先決。ところが、その東電が柏崎刈羽原発6・7号機の再稼働へ向けた安全審査を原子力規制委員会に申請したのを受けて金融機関が合計1兆円ほどの借り換え融資を認めようとしている。でも、それ金融機関にも年間70億円とかの金利が入ってくる。その原資は国民の税金。釈然としないですよ。みずほフィナンシャルグループの暴力団関係者への2億円融資が問題と

金融政策が破綻しそうなになれば、オバマやイレレンに責任転嫁しようという発想だらうからね。(田中)

### 田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に「なんとなく、クリスタル」で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。



なっているけど、こっちはどうなんだ。浅田 JALのときと同じで、一度は破綻処理して、株主や債権者(メガバンクを含む)にも部分的に痛みを分かち合ってもらえない。その上で、新社は再生可能エネルギーやスマート・グリッドをはじめとする新しい技術に大胆にチャレンジすべきだし、旧社も世界から有能な技術者を招いて世界最先端の廃炉技術を確立すればいい。今のような中途半端な状態では東電の社員も思いついたことができないからね。

田中 東電の社員も経産省の役人も、上部以外はそれを望んでいるのにね。

JR北海道でも事故が多発し続けている。JR東日本と並んでJR総連系の組合に革マル派の影響が強いのが遠因ではないかとメディアは報じているけど、現場にマイスターがいなくなってきたのも一因だと思うよ。ポルトを締め直してもレールを叩くと妙な音がしたら、車両の通過回数やレールの摩耗度は内規で定められた基準値内でも、レールを交換しようと言える鋭い暗黙知と使命感を持った仕事に厳しい職人がね。JR総連とは敵対関係だと言われているJR九州でも、架線を支える電柱が管内の七十数か所で見られ、近くに立てられていたり、

フクイチでビニールシートから汚染水が漏れ出したり。これまでの日本では考えられないような凡ミスが頻発している。

浅田 労働条件の悪化と世代間の技術継承の断絶が問題だね。昔はシニアのマイスターの技術を若手が体で覚える時間があつた、それ

が無理になってきている。困塊世代の一挙退職もあつて、こういう事故はますます増えかねないと思うな。

### 共和党の「自爆テロ」で、危うく債務不履行に。

田中 予算不成立で連邦政府機関の閉鎖が相次ぎ、10月17日には政府債務の上限を超えて債務不履行に陥りそうだったアメリカは16日夜に債務上限の暫定的な引き上げが暫定予算とあわせて議会で可決された。

浅田 アメリカはTPPでAPEC(アジア太平洋経済協力会議)の主要国を取り込んで中国を牽制しようと思気込んでた矢先に、こんなバカげた政争に足を取られて、バラク・オバマ大統領もAPEC出席を見送らざるを得なかった。問題の焦点であるオバマケア(事実上の国民皆保険制度)は議会を通過し、その後オバマは再選されたんで、もう後戻りできないってことは、共和党のジョン・ペーナー下院議長だって認めてたんだよ。ところが、ティー・パーティーと呼ばれる共和党保守派の議員たちは、「大きな政府」批判の一環としてオバマケアを否定したいので、それを含む予算案は通さない、オバマケアの施行を延期しないなら政府債務上限の引き上げも認めない、と。それでアメリカ政府がシャットダウンや債務不履行に陥ることも辞さない、また無益な混乱を嫌う選挙民の意思をあえて無視するっていう二重の意味で、まさに「自爆テロ」だよ。他方、オバマには引く理由がない——っていうか、ここで共和党の無茶なブラフに屈したら悪しき先例をつくっちゃうから引けない。最大の問題は、ペーナー下院議長をはじめとする共和党指導部が過激派の跳ね上がりを制御できなくなっ



てることなんだな。

田中 信州での知事時代に議会との間で「千日手」のような不毛な対立が続いていたのを思い出したよ(笑)。維新の会的なテイ・パーティーの連中がビル・クリントン元大統領以来の医療保険制度改革を実現させたくない駄々をこねたのは単なる感情論。逆に、ジョー・バイデン副大統領と一緒にホワイトハウスから歩いて昼食のサンドイッチを買いに行くパフォーマンスをオバマが見せたのは、いかにも彼らしい。

浅田 ベン・バーナンキFRB(連邦準備制度理事会)議長が量的緩和を止める可能性がある」と発言した途端、新興国をはじめ世界中で金融パニックが起こりそうになった、あれ以来、世界がアメリカの経済統計を注視しているのに、政府がシャットダウンされて一時は統計も発表されなかったんだから、一体どうなってるんだっての。本当に債務不履行でアメリカ国債が暴落して世界恐慌にでもなったら、笑えない冗談だよ。実は、暫定予算は来年1月17日まで、政府が引き続き借入れ可能なのも2月7日までだから、その間に話し合いが進まなきゃ、またこのバカ騒ぎが繰り返される可能性もないわけじゃない。やれやれ。田中 財政赤字の削減方法や歳出の強制削減の具体策を12月13日の金曜日までに上下両院の超党派委員会に取りまとめねばならない。日本ではオバマのレイムダック化と報ずる向きもあるけど逆でしょ。議会にボールは投げられている。

FRBの次期議長はジャネット・イエレンが指名される。彼女自身はいわば市場経済であるべきだという理念の持ち主で、市民に寄り添うかたちでアメリカ経済を立て直そうとしたのだからね。で、本来は真



## 昔はシニアのマイスターの技術が若手が体で覚える 時間があつた、それが無理になってきている。(浅田)

逆な考えのウォール街の面々は、彼女の下の金融引き締めが先送りされたほうが目先の景気は失速せず、自分らの収益も安泰だと一枚上手に操りそうな気配だ。

浅田 オバマの悪いところはギリギリまでローレンス・サマーズの議長指名にこだわったこと。サマーズは、シテイ・グループ出身でクリントン政権の財務長官だったロバート・ルービンの影響下にある人物で、ともに金融の規制緩和を進めた、それがリーマン・ショックにつながったわけだからね。それでもウォール街を盛り上げる白人エリート層と仲良くやっていきたい、その辺がオバマの弱さだよ。それに比べれば、イエレンは雇用を重視するハト派だし、ちなみに夫のジョージ・アカロフも市場の限界を明らかにする研究でノーベル賞を受けた。とはいえ、さっき言ったように量的緩和からの出口戦略を探るってのは大変な難題だよ。日本もアベノミクスで「異次元の金融

緩和」とか言ってるけど、FRBの苦勞を見て、いまだから出口戦略をよく考えたくないよ。

田中 ウォール街の連中は、金融政策が破綻しそうになれば、オバマやイエレンに責任転嫁しようという発想だろうからね。

浅田 片や日本では消費税率を来年4月から8%に引き上げると安倍が正式に発表した。増税は景気回復の足を引っ張るし、消費税率には問題も多いから、われわれはもともと反対だったんだけど、去年いったん増税法案が通った以上、国際公約になっちゃったわけで、いままさら見送る手はなかったと思うね。

田中 同感だけど、今回の消費増税も抜本的な税制改革になっていないのが問題だね。インヴォイスⅡ取引明細書も相変わらず導入しないし、株式会社7割、連結決算を導入している超大企業も66%が法人税を1円も支払っていない異常さや、アマゾンのように顧客から受け取った消費税分を日本で納税していない疑いが濃い無国籍企業が台頭する今こそ現行の法人税制を大刷新して、全企業に0.5%課す法人売上税や活動量に課税する外形標準課税を導入すべき。アマゾンと言え、フランスで面白い法案が通った。フランスでは書籍を再販する際に新刊でも価格の5%まで値引きして販売するのが許されていて、書店が独自でセイルを行ったりしているけど、オンライン書店がこれに加えて配送も無料とするのを禁止する法案を極右国民戦線のマリヌ・ルペンらが議会に提出したら、左派も一緒

に共闘して全会一致で通った。我々はEUの基準に沿って行っているとアマゾンは反論しているけど、法人税率の低いルクセンブルクの子会社を通じて欧州での利益を申告しているアマゾンへの反発は強くなる一方だ。

浅田 社会が電子化してきたからインヴォイス方式を徹底するのは難しくはないはず。だから、食品などの必需品に加えて、本や雑誌といった文化に関わる商品も、軽減税率の対象にしようと思えばできる……。

田中 食品も一律だったらいけど、フォアグラのようなぜいたくな加工品はどうする? と些末な議論が始まって、結局は声の大きな業界の族議員や族団体の意向に左右されちゃう危険性は、大。

浅田 そう、政治家や官僚の裁量の余地を最小限にしないとね。

田中 激変緩和で低所得者1人当たり1万円、年金や児童扶養手当受給者に1万5000円支給と言ってるけど、それって行政の事務処理を肥大化させて、天下りの連中が喜ぶだけ。5兆円規模の経済政策も、公共事業以上に効果のほどは不透明。

浅田 とくに復興特別法人税廃止の前倒しはあざといよ。法人税そのものを引き下げたいなら正攻法でいけばいいのに。

田中 企業の復興税を減らせれば給料も上げられると思うと米倉弘昌経団連会長が述べたけど、勉強机を買ってくれたら成績も上がると思うと子どもが言ってるのと同じレベル(笑)。実は財政健全化なんて真剣には考えていなくて、いつでも税金は上げられるんだという実績を財務省がつくっておきたいがための消費増税だつてことがバレちゃった。ウーム、ニッポンって大丈夫かな。

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

